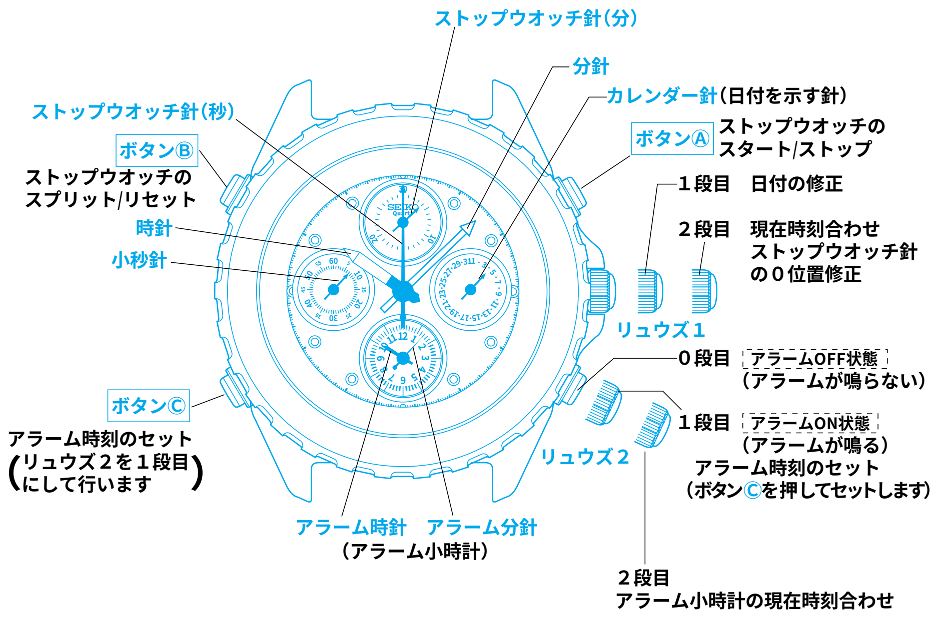
■7T34の主な特徴

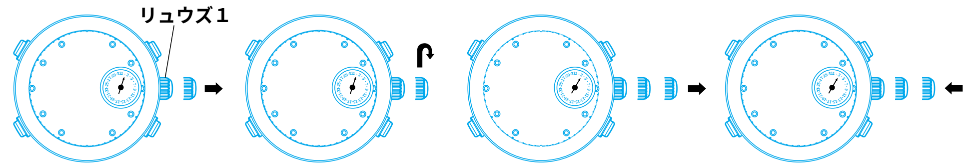
7T34は、現在時刻のほか、日付、ストップウオッチ機能、アラーム機能をもった時計です。
- ●現在時刻を、時針、分針、小秒針で表示します。
- ●日付は針で表示します。
- ●ストップウオッチは1/5秒単位で30分まで計測します。
- ●アラームは独立した小時計で表示します。
- ●電池の寿命が終りに近づくと、秒針が２秒間隔で動いて知らせてくれます。

●各部の名称とはたらき



■カレンダー針の合わせかた

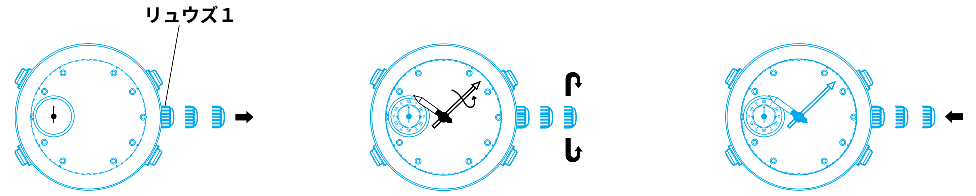
●日付はカレンダー針の指示している数字、又は中間の点で読みます。



1. リュウズ１を１段引き出します。
   ※この時計のリュウズは２段に引けます。
2. リュウズを右にまわして前日の日付にセットします。
3. リュウズを２段目まで引き出して今日の日付になるまで針をまわします。
4. 時刻合わせがすみましたらリュウズをもとの位置まで押し込んでください。

※午後９時〜午前１時までは日付を合わせないでください。この時間帯に日付を合わせますと、翌日になっても日付が変わらないことがありますので、この時間外に針を動かしてから日付を合わせてください。
※月末の日付修正について
２月（一ヶ月が28日、うるう年は29日）との小の月（一ヶ月が30日）では、月末または翌月の１日に、日付の修正が必要になりますので日付を合わせてください。

■時刻の合わせかた

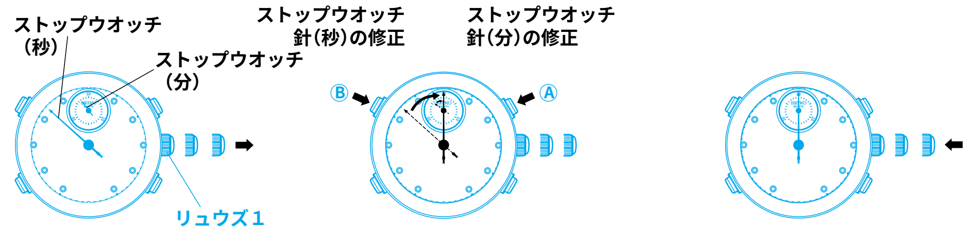


1. リュウズ１を２段目まで引き出すと小秒針が止まります。小秒針は60の位置に止めてください。
2. リュウズをまわして針を合わせます。分針を正しい時刻より４〜５分進めてから<u>逆にもどして</u>合わせてください。
3. 時報と同時にリュウズをもとの位置まで押し込んでください。

※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

■ストップウオッチ針の０位置修正

●ストップウオッチ針の０位置がずれて、リセットしても０の位置にもどらない場合は……



1. ストップウオッチをリセットして、リュウズ１を２段目まで引き出してください。
2. ⒶⒷ各ボタンを押して、正規の０位置に合わせてください。
3. リュウズを押し込んでください。

※ボタンを押し続けると、針を早送りできます。
※この操作を行なう間、時計が停止しますので０位置修正後、時刻合わせをしてください。

■製品仕様

1. 水晶振動数 ········32,768Hz（Hz＝１秒間の振動数）
2. 携帯精度 ··········常温（5℃〜35℃）において月差±15秒以内（アラーム目安精度±１分）
3. 作動温度範囲 ·······－10℃〜＋60℃
4. 駆動方式 ··········ステップモーター式（４個）
5. 表示内容 ·········· 時刻表示　時、分、秒（１秒ステップ運針）
   ストップウオッチ(1/5秒計測、30分計)　分針(１分ステップ運針、30分/１回転)
   秒針(1/5秒ステップ運針、60秒/１回転)
   アラーム　時、分（１分ステップ運針）、12時間制
6. 使用電池 ··········小型銀電池　SB-BP　１個
7. 電池寿命切れ予告機能つき
8. 電子回路 ··········C-MOS-LSI　１個

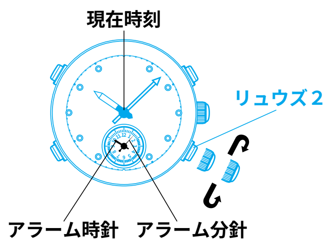
※上記の製品仕様は改良のため予告なく、変更することがあります。

■アラームの使いかた

●１分単位でアラーム時刻がセットできます。（ただし午前、午後の区別はありません）

アラーム小時計は別時計です。アラームを使用する前にアラーム小時計の現在時刻合わせをします。

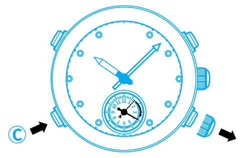
※この操作は、１回行えば現在時刻を修正するとき以外は必要ありません。



リュウズ２を２段目まで引き出して、リュウズをまわして、アラーム小時計を現在時刻に合わせます。合わせ終ったら、リュウズをもとの位置まで押し込んでください。

※リュウズ２を２段引き出すと、約１秒間警告音が鳴ります。警告音が鳴り終わると、あらかじめセットしてあったアラーム時刻はキャンセルされます。
（ただし、鳴っている最中にリュウズをもどせばキャンセルされません。）

アラーム時刻のセット

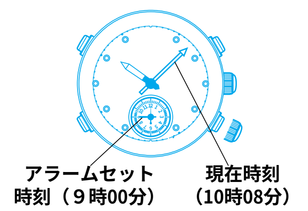


リュウズ２を１段引き出すとアラームONの状態になり、同時に確認音がピッと鳴ります。（アラーム小時計の時刻合わせ後初めてセットする時は、アラーム音が鳴り続けます。）
このとき、ボタンⒸを押して、アラームを鳴らしたい時刻にセットします。
ボタンⒸを１回押すと１分ずつ進み、押し続けると早送りできます。

アラームONとOFF

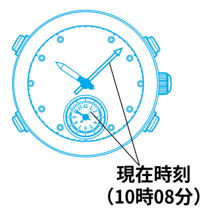
アラームのON、OFFはリュウズ２で行ないます。リュウズ２が０段目の時はアラームOFF、１段目の時はアラームONの状態になります。

〈アラームON〉



アラームONの時、アラーム小時計はアラームをセットした時刻を表示します。
※アラームはセットした時刻に約20秒間鳴ります。

〈アラームOFF〉

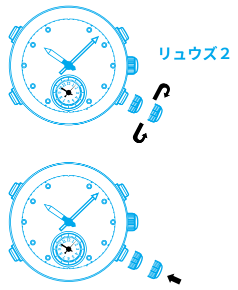


アラームOFFの時、アラーム小時計は現在時刻を表示します。
※アラーム音を途中で止める場合は、ボタンⒶⒷⒸのいずれかを押すか、リュウズ２をもとの位置へ押し込んでください。

■６時位置の小時計をデュアルタイム表示として使う場合

この時計の６時位置の小時計を使って、デュアルタイム表示させることができます。

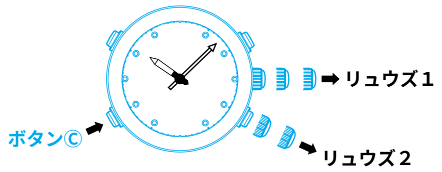
⚠注意
・通常アラーム機能に使っている小時計を、この機能に使ってしまいますので、合わせてあるアラーム時刻等は、キャンセルされます。アラーム機能として使用する際には、もう一度、アラーム針の現時刻を合わせてから、行って下さい。



①リュウズ２を２段目に引き出してください。
※約１秒間警告音がなります。
②リュウズ２を回転し、合わせたい地域の時刻に合わせてください。
※12時間制ですので、午前午後は読み取れません。
③合わせ終ったら、リュウズ２を押し込んでください。
※この状態から、リュウズ２を１段目に引き出し、アラーム時刻をセットした場合、合わせた地域の時刻が一致した時にアラームがなります。

■システムリセットについて

万一、針が通常動作と異なる動きをした場合、以下のような操作を行なってください。時計体内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。



リュウズ１・２とも２段引き出し、ボタンⒸを押してから各リュウズをもとの位置まで押し込んでください。

※システムリセット後は時刻合わせ（アラーム小時計を含む）とストップウオッチの０位置修正を行ってください。

■「ルミブライト」について

「ルミブライトは、放射能等の有害物質を全く含んでいない環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）物質です。」ルミブライトは太陽光や照明器具の明かりを短時間（約10分間：500ルックス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約３〜５時間）光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度（明るさ）は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収度合により、光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。

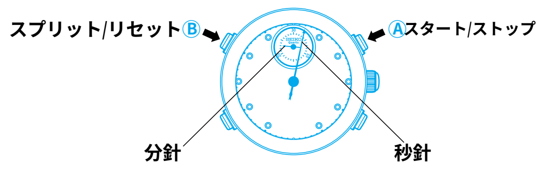
〈照度データ〉（目安値）
A.太陽光[晴天]100,000ルクス[曇天]10,000ルクス
B.屋内（昼間窓際）[晴天]3,000ルクス以上　[曇天]1,000〜3,000ルクス[雨天]1,000ルクス以下
C.照明（白色蛍光灯40Wの下で）[1m]1,000ルクス　[3m]500ルクス(通常室内レベル)[4m]250ルクス

■ストップウオッチの使いかた

●1/5秒単位で最大30分まで計測可能です。　※針が０位置に合っているか確認してください。

※ストップするのを忘れた時は、ストップウオッチが作動してから６時間後に自動的にストップします。
※商品によってはデザイン上の理由で1/5秒単位目盛りがありませんが、ストップウオッチ針は1/5秒単位で動きます。

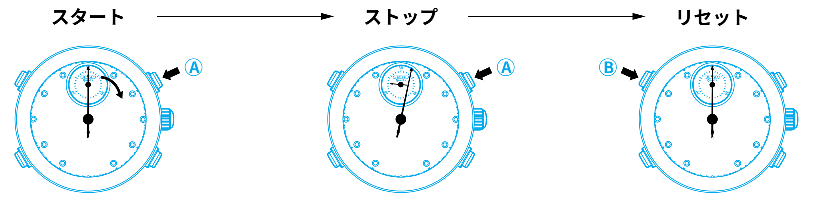
〔ストップウオッチの読みかた〕



（例　23分02秒6）

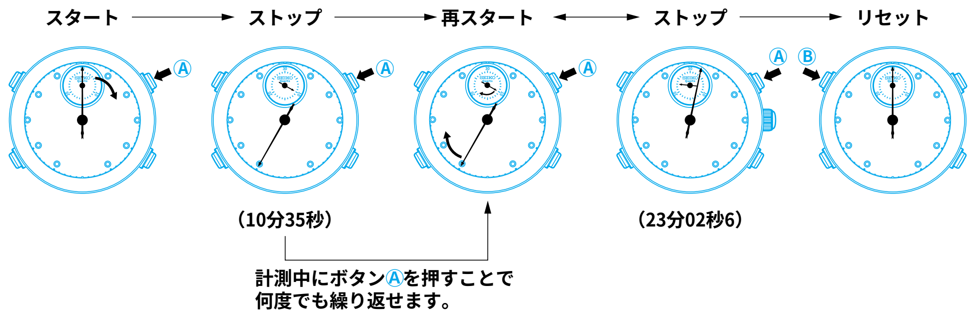
※ストップウオッチ作動中にリュウズ１を２段引き出したり、リュウズ２を１段目や２段目に動かした場合、ストップウオッチは停止し、針が０位置にもどりますのでご注意ください。

〔普通の使いかた〕　ボタンを押す順序Ⓐ→Ⓐ→Ⓑ

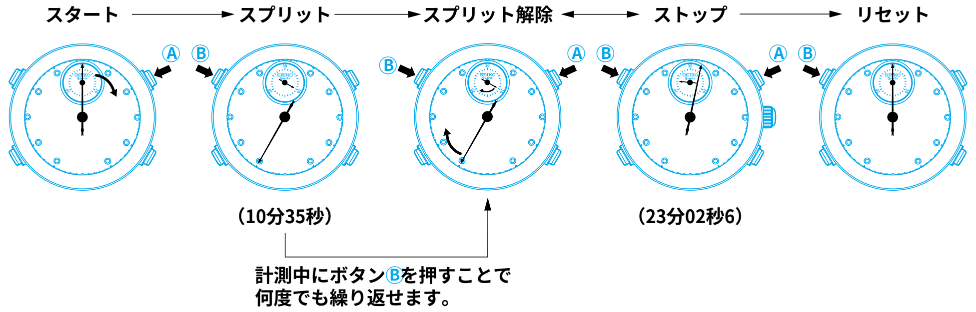


（23分02秒6）

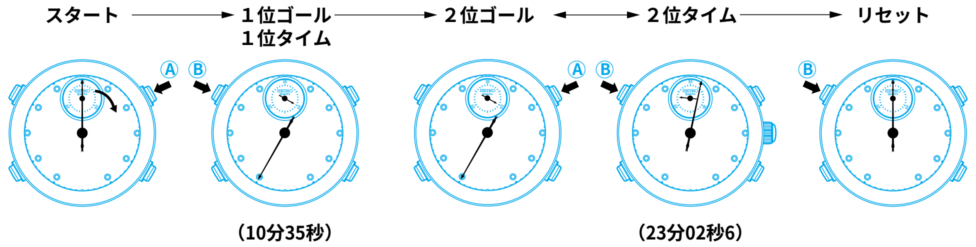
〔時間計測を積算で行なう場合〕　ボタンを押す順序　Ⓐ→Ⓐ←→Ⓐ→Ⓐ→Ⓑ



〔途中経過時間（スプリットタイム）を測る場合〕　ボタンを押す順序　Ⓐ→Ⓑ←→Ⓑ→Ⓐ→Ⓑ



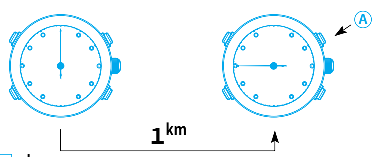
〔２人のタイムを測る場合〕　ボタンを押す順序　Ⓐ→Ⓑ→Ⓐ→Ⓑ→Ⓑ



＝タキメーター（TACHYMETER）がついている場合＝

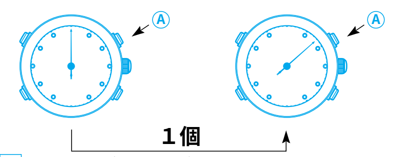
●単位時間あたりの時速や出来高などが簡単に測定できます。

時速を測定する場合



1. 1kmを走るのに要した時間を計測します。
2. 秒針が指しているタキメーターの数字を読みとります。　80km/時

１時間あたりの出来高を求める場合



1. 製品１個が出来上がるのに要した時間を計測します。
2. 秒針が指しているタキメーターの数字を読みとります。　400個／１時間あたり